

2025 年度

授業概要

科目名		構音障害Ⅰ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間	(2単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
小児の構音障害について理解し、評価ができる。									
〔授業全体の内容の概要〕									
小児の構音障害の定義から評価、訓練を学ぶ。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
小児の構音障害に関する専門用語の説明ができる。 小児の構音障害の評価ができる。 小児の構音障害の訓練計画を作成できる。									
回数	講義内容								
1	発話障害の基本概念								
2	小児の発話障害の原因と分類								
3	構音の発達								
4	小児にみられる構音の誤り								
5	器質性構音障害①								
6	器質性構音障害②								
7	器質性構音障害③								
8	器質性構音障害④								
9	運動障害性構音障害								
10	機能性構音障害①								
11	機能性構音障害②								
12	新版構音検査①								
13	新版構音検査②								
14	新版構音検査③								
15	新版構音検査④								
16	前期のまとめ								
17	新版構音検査⑤								
18	新版構音検査⑥								
19	新版構音検査⑦								
20	機能性構音障害の関連要因に関する検査①								
21	機能性構音障害の関連要因に関する検査②								
22	構音訓練①								
23	構音訓練②								
24	構音訓練③								
25	構音訓練④								
26	構音訓練⑤								
27	構音訓練⑥								
28	事例検討①								
29	事例検討②								
30	まとめ								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
なし・配布プリント									
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。									